

がん検診の申込方法が変わります

1 前年度に受診歴がある方に受診券が届きます。

・令和3年度以降希望調査は無く、前年度に検診受診歴のある方へ受診券が届きます。

※婦人科検診、骨粗鬆症検診については、下記【女性必見！婦人科検診が変わります】を御覧ください。

令和3年度以降

前年度にがん検診受診歴のある方に受診券が届きます。



2 受診歴がなくても受診券等が届く方

以下に該当する方には受診券等が届きます。

検診の種類	対象年齢	送付物
胃がん・肺がん・大腸がん検診	40歳の方	受診券※大腸がん検便キットは同封されません。会場でお受け取りください
子宮頸がん検診	20歳の方（女性のみ）	受診券、無料クーポン券
乳がん検診 （マンモグラフィ検査）	40歳の方（女性のみ）	受診券、無料クーポン券
骨粗鬆症検診	40歳の方（女性のみ）	受診券
肝炎ウイルス検査	40歳の方	無料受診券
	45・50・55・60歳の方 で市の検査を受けたことが無い方	
歯周病検診	40・50・60・70歳の方	無料受診券

※年齢は3月31日を基準としています。

3 検診の対象者や検診の内容の変更があります



国の指針[※]に沿い、検診対象者や検診内容が変更になります。

※がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針

検診の種類	変更前	変更後	時期
胃がん検診	35 歳以上	40 歳以上	令和 3 年度以降
子宮頸がん検診	20 歳代は毎年	20 歳以上で 2 年に 1 度	令和 2 年度以降
乳がん検診	30 歳代のエコー検査	検診としての実施を廃止し、オプション検査となります。	

国の指針では・・・

- 胃がん検診は 50 歳以上の方で 2 年に 1 度受けることを推奨していますが、当分の間、40 歳以上の方を対象に年 1 回実施しても差し支えない、とされています。
- 子宮頸がん検診及び乳がん検診については、下記【女性必見！婦人科検診が変わります】をご覧ください。



受診券が届かない方で、がん検診受診を希望される場合、健康推進課までお問合せください。電話：23-0024
※検診によっては事前に受診券がなくても、当日会場で申し込むことで受診可能なものもあります。詳しくは「令和3年度がん検診総合案内の2.各種検（健）診の御案内」を御覧ください。

女性必見! /

婦人科検診が変わります

1 令和2年度以降は、生まれ年に関係なく受診が可能になります

令和2年度以降、乳がん検診及び子宮頸がん検診は、生まれ年に関係なく、ご自身にとって2年に1度の検診へと変更します。

検診の種類	今まで	令和2年度以降
子宮頸がん検診	20歳代は毎年	20歳以上は2年に1度
	30歳代以上は和暦奇数年または偶数年生まれの隔年	
乳がん検診	30歳以上で和暦奇数年または偶数年生まれの隔年	40歳以上は2年に1度 (マンモグラフィ検査)
	30歳代はエコー検査	
	40歳以上はマンモグラフィ検査	

例えば、令和2年に受診できなかった場合、生まれ年に関わらず令和3年度に受診が可能です。

※平成31年4月～令和2年3月までに受診された方は、令和3年度に自動的に受診券が送られます。

※30歳代に実施していた乳がん検診（エコー検査）は、**国の指針やがん検診ガイドライン等に沿い、対策型検診（住民検診）としての実施は廃止し、オプション検査となります。**ご希望の場合は、お問合せください。

国の指針では・・・

○40歳以上の女性に対し、問診及び乳房エックス線検査（マンモグラフィ）を実施することを推奨しています。

有効性評価に基づく子宮頸がん検診ガイドラインでは・・・

○子宮頸がん検診について、検診間隔が1年と2年ではがん死亡率の低下に差がないことが報告されています。

有効性評価に基づく乳がん検診ガイドライン(2013年度版)では・・・

○エコー検査は、死亡率減少効果の有無を判断する証拠が不十分であるため、対策型検診（住民検診）として実施することは推奨されていません。

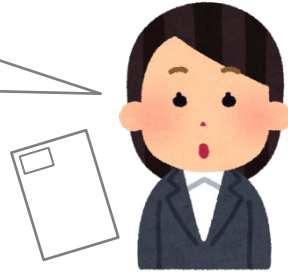


2 骨粗鬆症検診について

40歳の年に「乳がん検診受診券、無料クーポン券」と「骨粗鬆症検診受診券」が届きます。40歳の時に骨粗鬆症検診を受診すると、5年後の助成対象年の時には自動的に受診券が届きます。

令和3年度 40歳の方

受診券が届いたわ。
骨粗鬆症検診を受けてみましょう。



過去に節目年齢で検診を受けた方

例：平成28年度（50歳）で受診

→ 令和3年度（55歳）で受診券が届く



5年前に検診を受けたから受診券が届いたわ。

ご不明な点がございましたらお問合せください。

問合せ先：健康推進課

電話：23-0024

